

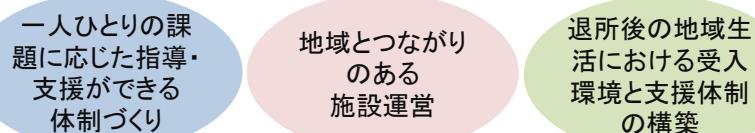
基本的な考え方・事業計画

基本理念

- ◆ 本市の社会資源を最大限に活用し、市全体で子どもを支援します
- ◆ 地域とつながりのある施設づくりをめざします
- ◆ 家庭や地域・関係機関との連携のもと、子どもの早期の自立の実現に取り組みます

基本方針と自立支援

基本方針



- ◆ 自立支援機能
- ◆ 教育機能 (施設内学校)
- ◆ 地域社会との連携

【自立支援機能】

生活支援	社会常識及び社会規範や様々な生活技術の習得
家庭支援	保護者に対し支援を行い、家庭環境を調整
中卒児童への支援	進学や就労に向けた支援や高校等への通学を支援
アフターケア	退所児童の安定した社会生活を支援

【教育機能(施設内学校)】

◆ 教育の基本方針

<自ら学び、社会で自立できる子どもの育成をめざします>

- ◆ 教育目標
- ・豊かな心の育成
  - ・確かな学力の育成
  - ・学校教職員と施設職員が一体となった教育の推進
  - ・知識や経験の市内校への波及

	学校形態	クラス数
小学校	分教室	1
中学校	分校	3

【地域社会との連携】

入所期間中から退所後まで、市民・地域の関係機関等の協力を得て地域と一体となった支援の展開を図る

対象児童と定員

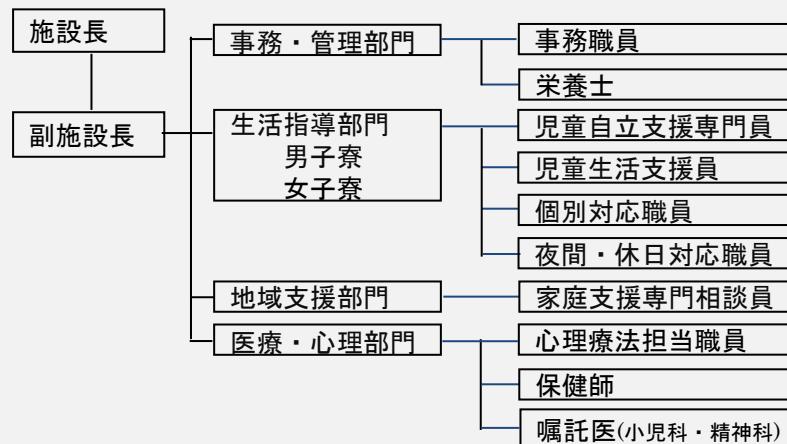
- 入所対象児童：小学生、中学生
- 定員：40名（男子20名、女子20名）

施設運営

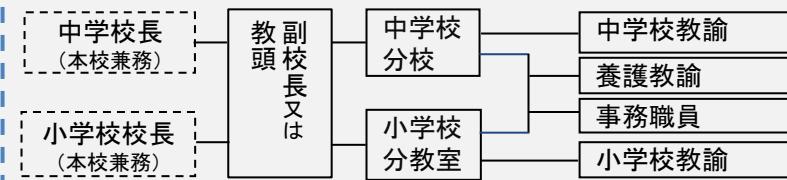
- ・小舎交替制による運営
- ・寮長を軸とするチーム体制での支援
- ・専門性の向上と職員間の連携
- ・第三者評価と自己評価の実施

職員体制

◆ 施設組織図



◆ 学校組織図



権利擁護

- ・子どもの最善の利益の尊重
- ・「権利ノート」と「施設生活のしおり」の活用
- ・権利擁護の仕組みの確立

研修プログラム

- ・国立武蔵野学院児童自立支援専門員養成所の研修(厚生労働省主催)への参加
- ・全国児童自立支援施設協議会実施の研修への参加
- ・実務経験者や学識経験者による研修への参加
- ・近隣の児童自立支援施設での実習

整備計画

施設コンセプト

あたたかい家庭的な雰囲気の中で育ち育てる場

計画地

所在地：堺市南区泉田中1052番地ほか  
敷地面積：64,720.18㎡  
都市計画区域：市街化調整区域



土地利用計画

3つのゾーンに整備

- ①本館（事務・管理部門、教育部門（校舎））ゾーン
- ②生活（寮舎）ゾーン
- ③運動場ゾーン

施設整備計画

【基本的な考え方】

- ・愛情のある、質の高い支援を実現できる施設
- ・安全に配慮した安心して支援が受けられる施設
- ・自然環境や人にやさしい、あたたかみのある施設

		面積(㎡)	備考
建物	本館	1,600	事務・管理部門及び教育部門(校舎)を本館に一体整備
	寮舎	1,720	1寮あたり430㎡×4寮で1,720㎡(男子2寮、女子2寮)
	体育館	820	バスケットボールコート1面分
	プール	650	25m×4コース
	調理棟 作業棟 地域交流棟	100 30 100	
運動場		6,000	

整備スケジュール等

平成31年 (2019年)度	平成32年 (2020年)度	平成33年 (2021年)度	平成34年 (2022年)度	平成35年 (2023年)度	平成36年 (2024年)度	平成37年 (2025年)
	設計			工事		4月開所

【概算整備費】  
約35億円  
(用地費除く)